

服巻紫浪先生「秋桜忌（第十七回短歌の集い）」に係る短歌募集について（お願い）

神埼市立春振中学校

本校では、毎年、脊振の歌人である服巻紫浪先生の偉業を称えて、「秋桜忌（短歌の集い）」を開催しております。今年度、十七回目を迎え、令和六年十月二十六日（土）午前中に、本校の文化発表会にて開催します。

つきましては、地域の皆様からもぜひ「一般の部」へ作品をご応募くださり、会を盛り上げてくださいますようお願い申し上げます。

なお、文化発表会と「秋桜忌（第十七回短歌の集い）」の開催については、後日改めてお知らせいたします。

【応募要領】

・裏面の応募用紙にて、ご応募ください。

・作品は、ファックスかあるいは直接中学校へお持ちください。

・脊振中学校への最終応募締切日は、十月十一日（金）です。

・「秋桜忌（短歌の集い）」においては、一般の部の短歌大賞、優秀賞、優良賞の発表も予定しております。

例 ふるさとの 脊振の山の ふところの 人の心に 花の種まく (服巻 紫浪)

例 石崖に 子ども七人 腰かけて 河豚を釣り居り 夕焼小焼 (北原 白秋)

例 生きるとは 手をのばすこと 幼子の 指がブーさんの 鼻をつかめり (俵 万智)

【一般の部 服巻紫浪短歌大賞作品（令和元年～令和五年）】

(令和元年度) 七日目の 命の果てを 鳴くセミに テレビの音も かき消されてく 内村 由利子 様 (脊振)

(令和二年度) マスクして 伝えることば 伝わらず 人との間 ますます遠く 廣瀧 直義 様 (脊振)

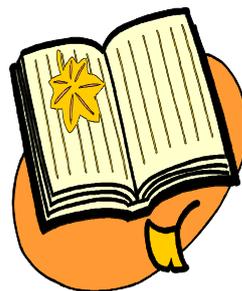
(令和三年度) 黄金の 稲束つかむ 小さき手 美味しいご飯 楽しみに刈る 岩本 千春 様 (佐賀)

(令和四年度) 祈るしか出来ぬ自分に腹が立ち庭いっばいにひまわり植える 内村 由利子 様 (脊振)

(令和五年度) ぼつぼつとあちらこちらに彼岸花涼しい季節はじまる合図 西川 彩乃 様 (脊振)

(賞) 夕暮れの脊振路灯す曼珠沙華風にゆられて満月を待つ (令和五年度 中学生の部 青春大賞作品)

(賞) 弟と遊びつかれて帰る時金木犀が香る夕暮れ (令和五年度 小学6年生の部 青春ジュニア大賞作品)



穂村弘という批評歌人の言葉を紹介します。「さあ始めよう、君の短歌は世界の心臓を爆破する」熱い思いが伝わってくるようですね。皆様も自分の思いを三十一文字に込めてみられませんか？

脊振中の「短歌の集い」は平成20年度に始まりました。中学生は、毎年、四季折々に短歌をよみ、「短歌の集い」の前にお気に入りの一句を選んで応募しています。

また、地域の方や保護者のみなさんと一緒に、短歌に親しむ集いにしたいという願いから、文化発表会の中で「短歌の集い」を開催しています。

さあ、一緒に短歌をよみましょう！ そして、ご応募をお待ちしています！

短歌応募用紙

令和六年度 服巻紫浪先生 「秋桜忌 (第十七回短歌の集い)」

短歌

※漢字にはふりがなをお付けください。

- ・短歌は、「五、七、五、七、七」を原則とします。季語は必要ありません。
- ・必ず、お名前とご住所及び電話番号を下記にご記入ください。個人情報、「短歌の集い」以外では一切使用しません。
- ・最終締切日 (脊振中学校への応募締切日) は、10月11日 (金) (12:00)です。

お名前		
連絡先	ご住所	
	電話番号	

ファックス送付先 神崎市立脊振中学校
0952-59-2222

お問合せ先 脊振中学校 教頭 電話：0952-59-2221